

理事会だより

2026年度 第4回理事会
(2026年8月19日開催)

■仲間づくり(7/20現在)

7 月度純増	262人
組 合 員 数	11万9,207人
組 織 率	10.6%

■出資金(7/20現在)

7 月度純増	7,302万円
出資金総額	47億9,961万円
1人当たり平均	4万263円

■損益の状況

	7月度(6/21~7/20)		
	実績額	予算比	前年比
供 給 高	12億5,695万円	96.8%	102.2%
事業総剰余金	4億1,293万円	97.6%	96.8%
事業経費合計	4億 400万円	94.5%	104.8%
経 常 剰 余 金	1,694万円	13048.4%	37.2%

	2026年度累計(2026/3/21~2026/7/20)		
	実績額	予算比	前年比
供 給 高	50億 629万円	99.5%	101.0%
事業総剰余金	16億2,792万円	99.2%	98.1%
事業経費合計	16億1,332万円	96.0%	103.5%
経 常 剰 余 金	3,782万円	—	31.1%

※1万円未満は切り捨てて表示しています。

2026年度 第5回理事会 (2026年9月11日開催)

■仲間づくり(8/20現在)

8 月度純増	▲32人
組 合 員 数	11万9,175人
組 織 率	10.6%

■出資金(8/20現在)

8 月度純増	▲2,662万円
出資金総額	47億7,298万円
1人当たり平均	4万50円

■損益の状況

	8月度(7/21~8/20)		
	実績額	予算比	前年比
供 給 高	11億2,175万円	100.2%	102.7%
事業総剰余金	3億6,717万円	99.7%	100.6%
事業経費合計	3億5,330万円	87.2%	103.7%
経 常 剰 余 金	2,126万円	—	69.6%

	2026年度累計(2026/3/21~2026/8/20)		
	実績額	予算比	前年比
供 給 高	61億2,804万円	99.6%	101.3%
事業総剰余金	19億9,509万円	99.3%	98.6%
事業経費合計	19億6,663万円	94.3%	103.6%
経 常 剰 余 金	5,908万円	—	38.8%

※1万円未満は切り捨てて表示しています。

報告事項

以下の事項について報告しました。

- 第1号議案 前回理事会以降の主な活動報告承認の件
第2号議案 7月度経営・事業報告承認の件
第3号議案 7月度組合員活動・地域連携推進報告承認の件
第4号議案 「令和8年熊本地震」災害支援募金の実施の件
第5号議案 わたしの想い受け止め議論2回目ふりかえりについて
第6号議案 秋の総代懇談会開催内容について
第7号議案 この間の報告の件 通常総代会・総会報告(コープきんき理事会、大阪府連理事会など)

議決事項

以下の事項について議決しました。

- 第8号議案 共同事業の発展に向けたパルコープとの新たな協定締結の件
第9号議案 クレジット決済導入に伴う共同購入利用・支払規則と共同購入約款の変更の件
第10号議案 食品添加物自主基準「運用基準」の改定の件

協議事項

以下の事項について協議しました。

- 第11号議案 個配管理手数料の改定の件

報告事項

以下の事項について報告しました。

- 第1号議案 前回理事会以降の主な活動報告承認の件
第2号議案 8月度経営・事業報告承認の件
第3号議案 8月度組合員活動・地域連携推進報告承認の件
第4号議案 秋の総代懇談会開催のすめ方について
第5号議案 組合員活動検討委員会準備会報告
第6号議案 居場所のこれまでの経過と今後について
第7号議案 第50回通常総代会PJの件
第8号議案 この間の報告の件 第3回豊能町産直協議会、ほのぼの幹事会、消団連理事会

議決事項

以下の事項について議決しました。

- 第9号議案 個配管理手数料の改定の件

協議事項

以下の事項について協議しました。

- 第10号議案 上期のまとめと下期の課題の件



能登半島被災地支援ボランティア募集

『能登復興の願い ともしび会』参加報告

能登半島地震、および豪雨で被害を受けた輪島市金蔵地区の正願寺にて、8月1日(土)に行われた『能登復興の願い ともしび会』の準備と当日の手伝いによどがわ市民生協から4人の職員が参加しました。大阪府生協連を中心に府下・他府県の生協と連携し実施している能登支援のひとつです。

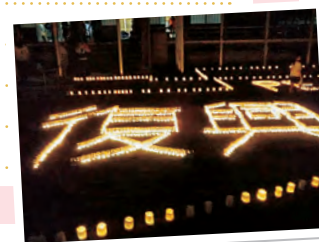
前日準備ではキャンドルのセット作業のほかお寺の清掃から草刈りなど会場の整備をしました。

当日は、高校生によるバンド演奏やミュージックセラピーなどの催しも行われ、その後、能登の復興と平和への祈りの想いを込め、8,000個のキャンドルを灯しました。



参加してみて

活動中の交流で、参加されていた組合員さんからの「ボランティアは力仕事じゃない、現地に行って現地の人の話し相手になることも立派なボランティアだよ」との言葉に、一人一人がそれぞれの形でも被災地の支えになれることを気付かされました。また、「震災から2年が経ち、インフラ整備は着実に進んでいる一方、人口減少や高齢化の問題は残っている」という状況の中でも「新しい能登の未来を築いていきたい」という現地の願いに、少しでも力になりたいと思いを強くしました。



8月度 商品検査報告

7月21日~8月20日

安全・安心の商品をお届けするため、商品検査室で検査を行っています。放射能検査の取り組みは、よどがわ市民生協のホームページにも掲載しています。

★商品検査の取り組み状況

商品検査数 794件 (前年 896件)

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果
微生物検査	526	1	再検査・継続検査・調査を要するものが、新規品1品ありました。
残留農薬検査	41	なし	問題ありませんでした。
食品添加物検査他	41	なし	問題ありませんでした。
残留放射能検査	20	なし	生鮮・一般食品を検査し、すべて検出はありませんでした。(検出限界値は20ベクレル/kg)
卵質検査	134	なし	問題ありませんでした。
輸入食肉検査	12	なし	問題ありませんでした。
アレルゲン(卵乳・小麦)	20	なし	問題ありませんでした。

※おおさかパルコープ商品検査室にて実施

環境保全の取り組み

恩納村産味付もずく

7月7日(火)・8日(水)に沖縄県国頭郡恩納村漁協を訪問しました。おおさかパルコープで実施していた『サンゴ再生もずく基金』の贈呈式の後、交流を通じて沖縄の文化を学びながら、サンゴの保全ともずく漁への理解を深めました。

恩納村漁協さんの取り組み

もずくは10月から6月にかけて生産をし、反対に6月~10月はサンゴの保全・育成に取り組んでいます『漁業活動も生態系の一部』という考えのもと、もずくが元気に育つ健全な海を育むため、サンゴの保全活動も行っています。



ここだけは伝えたい!

自然の力で育つもずくですが、「自然任せ」でよいというわけではありません。毎日船で海へ行き手入れをする。収穫の見極めが難しく、1番良い時に収穫するには天気や台風などの自然との戦いです。また恩納村ではサンゴ保全と育成にも取り組んでいます。恩納村のもずくを選んで食べる事は、生産者を応援し、美しい海と豊かな自然を未来へつなぐことにつながります。美味しいもずくをこれからも食べたい!ぜひ恩納村のもずくの美味しさと、想いを味わってください。

産地視察に行ってきました③

交流会にて

恩納村漁港の基幹産業がもずくで、生産者は約80人、2025年の生産量は1,386トン。自然災害や環境変化は避けられず、海水温の上昇により、もずくにとって重要なサンゴが白化し死滅するため、再生活動を地道に続けることが大事です。いろんな要因を分析し、毎年漁協と生産者で話し合いもずくの生産量を決定しています。ちなみに市販で流通しているもずくの98%が恩納村を含む沖縄県産です。



太もずく、糸もずく、恩納村でしかとれないもずくもあるで、チェックしてや



8月度 7月21日~8月20日

あなたの声を聴かせてくださいカード報告

組合員さんの願いをもっと実現できるように、生協へのご意見・要望を『あなたの声を聴かせてくださいカード』にてお聴きしています。カードは毎月1週目の配送時に配布しています。複数枚、必要な場合は、配送担当者またはコールセンター(☎0120-727-263 月~金 9時~21時 / 土 9時~17時)にお申し込みください。

受付件数	商品への意見・質問など	既存商品の企画要望	新規商品取扱い希望	おすすめの声	商品以外(仕組・お礼など)	総計
	124	112	13	388	64	701
実現事例	●ヨコミゾさんの『香港ギョーザ』が、国産具材がたっぷり入っていて、とても美味しいです。またぜひ企画してほしいです					10月4回 実現

